

# 「『命の大切さ』を実感させる教育への提言」の報告(骨子)について

## 「命の大切さ」を実感させる教育プログラム策定事業

### プログラム構想委員会

子どもたちに「命の大切さ」を実感させる教育の在り方について、提言をまとめる。

(委員) <五十音順>

井本 智勢子 三木市教育長  
上地 安昭 兵庫県立教育研修所 心の教育総合センター所長  
/兵庫教育大学大学院教授  
梶田 勲一(委員長) 兵庫教育大学長 / 文部科学省中央教育審議会委員  
加藤 寛 兵庫県こころのケアセンター研究部長  
藤井 美和 関西学院大学社会学部助教授  
/死生学・スピリチュアリティ研究センター長

### 意見聴取委員

子どもたちに「命の大切さ」を実感させる教育の在り方について、各識者の立場から意見を述べる。

(委員) <五十音順>

河合 隼雄 文化庁長官  
高木 慶子 英知大学教授  
日野原 重明 聖路加国際病院理事長  
養老 孟司 東京大学名誉教授

## 「命の大切さ」を実感させる教育への提言(骨子)

事務局  
兵庫県立教育研修所  
心の教育総合センター

### 第1部 理論編

## 「命の大切さ」を実感させる教育の目指すものは

### 第2部 実践編

今、生きていることが実感できること  
命を大切にしたい生き方ができること

子どもたちには

### 生きる喜びを実感させます

自尊感情を育むことをとおして  
誕生と成長の喜びや感動をとおして  
老・病・死と向き合う体験とともに  
理解し合う豊かな人間関係を築くことをとおして  
命をおびやかすものから自他の命を守っていかうことをとおして

### 教育プログラムモデル 授業用指導案

発達段階に対応(小学校低・中・高学年、中学校、高等学校)  
感動の体験、感性や想像力に働きかける学習・体験  
指導のポイント「感動の体験」「感性を育む」「想像力の育成」  
事前の準備、事後の振り返りの充実  
喜びの体験と悲しみにふれる体験の組み合わせ  
家庭、地域との連携

先生たちは

### 生きることを問い直します

自己の命や生き方を見つめる  
心の通い合うコミュニケーションの力をつける  
情報モラル指導力を高める  
死と向き合う人々の思いやかけがえのない人を失った  
悲しみにふれる

### 教員研修

自尊感情を高める  
自己再発見  
コミュニケーション能力を高める  
情報モラル指導力を高める  
死と向き合う人々や犯罪被害者・遺族から学ぶ

### プロジェクト・チーム

プログラム構想委員会の提言をもとに、小・中・高等学校各校種に応じた「生きる喜び」を実感させる教育プログラムを研究・開発する。そのまとめとして「『命の大切さ』を実感させる教育プログラム」を作成する。

(委員13名)

- ・富永 良喜(リーダー) : 兵庫県立教育研修所  
心の教育総合センター主任研究員 /  
兵庫教育大学大学院教授
- ・小学校・中学校・高等学校教諭(各2名 計6名)
- ・指導主事等(6名)